

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路課
担当課長名：中村 信之

事業名	戸田公園駅西口駅前通り2号線		事業区分	街路	事業主体	戸田市
起終点	起点：戸田市本町4丁目 終点：戸田市本町4丁目				延長	0.221 km
事業概要	本路線は、JR埼京線戸田公園駅西口駅前広場を含み、当駅環状道路と接続する路線として、街路事業の認可を得た路線である。当駅はJR埼京線の快速電車停車駅として、1日平均5万人の乗降客を有し、更に増加の一途をたどっていることから、駅利用のアクセス向上と通行の安全確保、更には街の玄関口として都市景観に配慮した整備による円滑な交通の確保に資するものである。					
H8年度事業化	S57年度都市計画決定 (S60年度変更)		H5年度用地着手		H7年度工事着手	
全体事業費	約37億円		事業進捗率	90%	供用済延長	0.145 km
計画交通量	1,800 台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 4.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 2.91 / 33.78 億円 事業費：2.99 / 36.73 億円 維持管理費：0.12 / 1.40 億円 用地費残存価値：0.2 / 4.35 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 11.99 / 62.66 億円 歩行者時間短縮便益：2.82 / 10.19 億円 移動サービス向上便益：9.17 / 47.36 億円 清静・交流・景観向上便益：0 / 5.11 億円	基準年 平成 17 年		
感性分析の結果						
事業の効果等	戸田公園駅は、鉄道・バス等の需要が高く、交通結節点として強化されることで、移動の効率化が図られる。また、交流や防災上の観点からも地域住民の生活の場として重要な空間となる。					
関係する地方公共団体等の意見	平成7年度に行われた市民意識調査で、要望施策について聞いたところ「駅周辺等の整備」が33.6%と最も高い結果であった。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	マンション等の開発が進み、平成8年～平成17年にかけて戸田市の人口は上昇傾向にあり約20%増加している。その中でも戸田公園駅西口の駅勢圏人口は約25%と高い伸び率となっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	駅前広場は完成しているが、駅前通り2号線 90mの内、約76mが未だ整備中である。現在は既存道路を利用しているが、今後は平成19年度までに用地買収し、平成20年度までに工事を完了させる予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地補償協議に時間を要したため、駅前通り2号線の工事着手が遅れたが、平成21年度には完成供用する予定である。					
施設の構造や工法の変更等	社会情勢に対応し、環境・景観・バリアフリーに配慮した構造を取り入れる予定である。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。